

はまかせ

風が運ぶお知らせ便り♪

- にしびょうTOPICS／開院まであと3ヶ月!兵庫県立西宮総合医療センターのご紹介
- 医療安全週間の実施について
- 論文が掲載されました!／原発性滲出性リンパ腫様リンパ腫の症例報告
- 院長エッセイ「四季雑感」／統合新病院開院に向けて
- キラリ!!看護のスペシャリスト～Part19～／感染管理認定看護師
- 地域医療連携センターからのお知らせ／入退院支援クラウド「CAREBOOK」を導入しました
- EBISU♥キッチン／～旬の野菜はシンプルでも美味しい編～かぶの塩焼き♪

にしびょう TOPICS

開院まであと3か月!

兵庫県立西宮総合医療センターのご紹介

2026年7月1日の開院に向けて準備が着実に進んでいます。外観だけでなく院内の各エリアも完成し、医療機器の搬入やスタッフ研修など、本格的な準備を行っています。

今回は、地域の皆さまにひと足早く、新病院の雰囲気をお届けします。

建物の建築が完了しました!

明るく開放的なフロアは、利用される皆さまが安心して過ごせるよう、動線や使いやすさにも工夫を凝らしています。



▲1階 さくらホール

▼2階 総合受付前



新病院の押しポイント



高度専門・急性期医療の提供

- 手術支援ロボットやリニアックなど、最新の医療機器を導入し、高度専門的な医療体制を整えます。



救急医療の充実

- 最新鋭のハイブリッドERを備えた救命救急センターを設置し、迅速で適切な救急医療を提供します。



感染症への対応

- 感染専用エレベーターや陰圧設備付き診察室等を整備し、感染症対応を充実します。



災害への対応

- ヘリポートの設置、免震構造の採用など、災害に強い病院づくりを実現します。

開院後の対応について

受付場所、受診方法、診察券発行などの詳細は
現在検討中です

最新情報は、ホームページなどにより随時お知らせいたします。

<https://www.nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp>



左側のQRコードを
読み込んでいただくと
“県立西宮病院の
ホームページ”に
アクセスできます♪

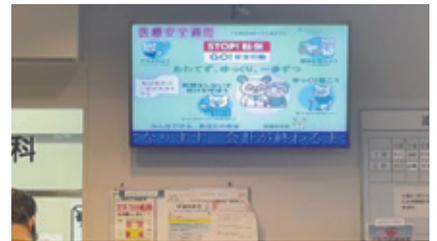


医療安全週間の実施について



医療安全部では2025年11月に患者さんと共に築く安全文化「転倒転落防止から始めよう」をテーマに医療安全週間を実施しました。

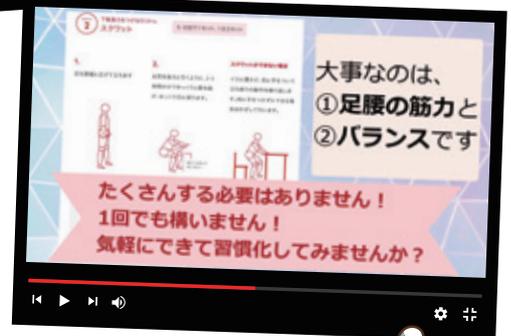
ポスターの掲示やパンフレットの配布、啓発動画の放映などの多様な方法で医療安全への関心を持っていただくように取り組みました。



セフティ君



転倒・転落防止を目的とした身体づくりの推奨として、家庭内つまづきやすい注意ポイントの解説やスクワットなどの下肢筋力トレーニングを紹介するオリジナル動画をリハビリテーション科と連携して作成しました。



パンフレットには、廊下での歩行・急な方向転換・ベッドからの立ち上がりなど、具体的な転倒リスクの高い場面をイラストで図解表示しました。また、寝たままの体制や座って行える運動など、患者さんの日常生活動作に合わせて無理なく実践できるメニューを提案し、筋力とバランス能力の維持・向上を促しました。



医療安全って何だろう？

～あなたの安心を守るチーム『医療安全部』～



私たちは「誰が悪いか」ではなく「なぜ起きたか」を考え、再発防止に努めています。

患者さん・ご家族と共に“安全でやさしい医療”をつくっていきましょう。



医療安全部は、患者さんが安心して治療を受けられるよう、医療現場の「ヒヤリ」「ハッと」を集めて、再発防止や改善を進めるチームです。

インシデントの分析と対策

実際の医療事故や、起こりそうになった出来事(インシデント)を分析し、原因を探って再発を防ぐための対策に取り組んでいます。

教育・研修

安全に医療が提供できるよう、事例を学びながら知識と意識を高める研修を定期的実施しています。

改善活動

より安全で安心できる医療をめざし、日々の業務の中で見つかった課題を話し合い、仕組みや手順を改善しています。



情報発信



安全に関する大切な情報を分かりやすく伝えています。

論文が掲載されました!

循環器内科の樋口科長、志波医長、坂東医長らの論文が、European Heart Journal – Cardiovascular Imaging (Impact Factor6.6) に掲載されました。

本論文は血液内科の上田部長との共同執筆であり、原発性滲出性リンパ腫様リンパ腫 (primary effusion lymphoma-like lymphoma; PEL-LL) の症例報告です。

PEL-LLは、胸水・腹水・心嚢液などの体腔液中で増殖します。心嚢液貯留で発見された本症例では、画像診断法を駆使して診断および治療方針の決定を行いました。

その結果、適切な治療介入につながり、良好な臨床経過を得ることができました。PEL-LLは、全身に明らかな腫瘍形成を伴わない悪性リンパ腫であるため、診断に難渋することがあります。本症例では、診療科の垣根を超えた診療により迅速かつ的確な診断と治療を提供することができました。



統合新病院開院に向けて

今年は待ちに待った統合新病院開院の年です。今から7年前、2019年1月に「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本協定書」が締結され、以後、新病院整備に向け全力で取り組んできましたが、本年7月1日に念願の統合新病院（兵庫県立西宮総合医療センター）が無事開院する運びとなりました。この7年の間には、コロナ禍やインフレ、そして、それらに起因する患者の受療行動の変容や経費高騰による病院経営の圧迫など、新病院整備に多大な影響を与える予期せぬ事象が多々発生しましたが、多くの方々の協力を得て何とかこれらの困難を乗り越えほぼ計画通りに整備を進めることができました。これまで本事業に関わってこられた全ての方々に心より感謝申し上げます。

新病院は、阪急今津線阪神国道駅のすぐ目の前に位置し、建物は10階建てで屋上にはヘリポートも整備されています。現在の県立西宮病院は400床ですが、新病院は552床と今より一回り大きな病院となります。また、診療科も現在の25診療科から35診療科に増え、病院機能もさらに充実します。先日、新病院の全フロアーを見学する機会に恵まれましたが、どのフロアーも本当に綺麗で解放感があり、かつ、機能美に溢れており感銘を受けました。新病院の基本理念は、「私たちは、地域の中核病院として、高度で良質かつ安全・安心な医療を提供することにより地域住民の健康を守ります」です。この理念にのっとり、高度専門医療、救急医療、災害医療等を担うバージョンアップした地域の中核病院として、また、情報技術を駆使して医療の質向上、医療従事者の負担軽減、患者さんの利便性向上などを

実装するスマートホスピタルとして地域医療に貢献したいと思っています。さらには「患者さんが行きたくなる」のみならず「医療従事者が働きたくなる」労働・教育研修環境にも十分配慮した病院を目指しています。

これらから開院まであとわずか3ヶ月ですが、この間に実施すべき業務はまだ沢山あります。そして、移転事業の最後には、一大イベントの「病院の引っ越し」があります。病院機能をできるだけ維持しながら、入院患者の移送や医療機器等の移転を安全に実施するには入念な計画と準備が必要です。今年は午年ですが、競馬に例えると今ちょうど第4コーナーを回ったところだと思います。これから最後の直線をさらにペースを上げて全力疾走し、無事に病院の移転を成し遂げ新病院を開院し、一日も早く運営を軌道に乗せたいと思っています。引き続きご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

兵庫県立西宮病院長 野口 眞三郎



新病院のイメージ図

キラリ!! 看護のスペシャリスト ~Part 19~

感染症にかかると免疫力が十分でない乳幼児や高齢者は、重症化する可能性が高くなります。感染症の重症化予防の方法として、ワクチン接種があります。

そこで、ワクチン接種によって防げる病気についてご紹介します。



感染管理認定看護師
久保田 さつき

ワクチンで防げる病気(VPD)を知ろう

VPD(Vaccine Preventable Diseases)とは感染症の中で、ワクチンで予防できる病気のことです。

例えば、結核、麻疹(はしか)や風疹(ふうしん)などが主に挙げられますが、
新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなども含まれます。

	定期接種(おおよそ公費)	任意接種(自費)
乳幼児	<ul style="list-style-type: none"> ●B型肝炎 ●ロタウイルス ●小児用肺炎球菌 ●五種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・ヒブ) ●BCG ●MR(麻疹・風疹混合) ●水痘(水ぼうそう) ●日本脳炎 ●HPV(ヒトパピローマウイルス) 	<ul style="list-style-type: none"> ●流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) ●新型コロナ ●インフルエンザ ●髄膜炎菌
成人	<ul style="list-style-type: none"> ●インフルエンザ (65歳以上、60~64歳で基礎疾患がある方) ●新型コロナ (65歳以上、60~64歳で基礎疾患がある方) ●肺炎球菌 (65歳以上、60~64歳で基礎疾患がある方) ●带状疱疹 (65歳以上、60~64歳で基礎疾患がある方) 	<ul style="list-style-type: none"> ●インフルエンザ ●日本脳炎 ●ジフテリア ●RSウイルス(60歳以上) ●髄膜炎菌感染症 ●麻疹(はしか) ●B型肝炎 ●流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) ●带状疱疹(50歳以上) ●新型コロナ ●破傷風 ●ポリオ ●風疹 ●水痘(水ぼうそう)

[2025年12月時点]

自費でワクチン接種を行うものも、地域によっては接種費用の助成が受けられる場合がありますので、自治体やかかりつけ医にお問い合わせください。

※ワクチン接種はかかりつけ医で受診していただきますようによろしくお願いします。



安心して予防接種を受けていただくために、予防接種をする前には、予防接種が可能か必ず健康状態の確認をします。

また、予防接種後15分程度は、病院内で経過観察をして、接種後の副反応について観察します。副反応には、接種した場所が腫れたり赤くなったり、発熱を認めることがあります。



厚生労働省 予防接種 ワクチン情報 検索

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/index.html

地域医療連携センターからのお知らせ

当院では令和8年2月2日(月)より退院支援に関して「入退院支援クラウドCAREBOOK」というWebサービスを新しく導入しました。

今まで電話やFAXでやりとりしていた転院調整を、Webブラウザ上の相談フォーム送信やチャット機能を介して転院調整を行うシステムです。転院調整に「CAREBOOK」を利用することで双方の調整業務が効率化され、地域連携がより一層強化されるものと考えております。

転院打診を受ける側の医療施設様にかかる加入料は不要ですので、是非とも導入をご検討ください。



問い合わせ先 地域医療連携センター 電話 0798-34-5151(代表)

EBISU♥キッチン

～旬の野菜はシンプルでも美味しい編～

かぶの塩焼き♪ BY 栄養管理部



材 料	分量(4人分)
小かぶ	220g (小3個)
かぶの葉	120g
鰹節	2g (1パック)
濃口醤油	小さじ1
塩	1.2g (ひとつまみ)
油	大さじ1

●1人当たり栄養価

エネルギー	たんぱく質	脂 質	炭水化物	塩 分
46kcal	1.5g	3.1g	3.9g	0.55g

かぶについて

【栄養素】

根は淡色野菜で消化酵素(アミラーゼ)を含み、葉の部分は緑黄色野菜でβカロテン・ビタミンC・カルシウム・カリウムが豊富です。一つの野菜で腸内環境が整い、美容効果も得られます。丸ごと食べましょう。

【保存方法】

買ったままの袋のまま保存すると野菜の水分がでて袋がぬれ、鮮度が早く落ちてしまいます。冷蔵庫の野菜室に入れる前に葉と根の部分を切り離して、別々の袋で保存した方が長持ちします。水分が多い(約90%)食材なので、早めに調理するのが最善です!

【旬】

春は3～5月、秋は10～11月と年に2回も旬があります。春は生のままお漬物・サラダに、秋はあんかけ・かぶら蒸し・シチューに、おせち料理の菊花かぶ・なますにも幅広くお使いいただけます。

(管理栄養士：高橋 千恵 調理師：北川 伸江)

☆今回は、根も葉も丸ごと食べられる♪
これから旬を迎えるかぶレシピをご紹介します☆

作り方

- ①かぶを葉と根に切り分けて洗う。かぶの根の部分は1/4に切る。(皮はそのままOK)葉の部分は、5mm程度に切る。
- ②根と塩をポリ袋に入れて、味をなじませ水分を出す。
- ③フライパンに油をなじませ、かぶを入れて断面を焼く。焼き加減はお好みで♪
- ④葉の部分は鰹節と一緒に炒めていきます。
- ⑤最後に香り付けに醤油を鍋肌にまわしかける。お好みでごまやごま油を入れていただいても♪
- ⑥彩り良くお皿の奥にかぶ、手前に葉を盛りつける。

調理のポイント

- ▶かぶの根は塩をふって水分を出しておくことと素材の風味が濃くなります。時間があれば屋外で干すと水分が出てさらに凝縮します。塩だけでも充分美味しく召し上がれます。
- ▶根の部分を焼くときは、少し焦げ目を付けると見た目と味ともに美味しくなります。しっかり焼くと甘く柔らかく、浅めに焼くと歯応え良くサッパリとした仕上がりになります。

かぶのいろいろ

- ▶白色だけでなく、外側の皮が赤く中味が白い赤かぶもあります。甘酢に漬けて一晩置くと皮に含まれるアントシアニン色素と反応して全体が鮮やかな赤色に仕上がります。柚やすだちを入れて爽やかな風味をお楽しみください。



管理栄養士による栄養食事相談を月～金に予約制で行っています。ご希望の場合は、主治医または看護師、管理栄養士までお申し出ください。

H A M A K A Z E

2026.52
Vol.52

兵庫県立西宮病院

〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町13番9号
TEL:0798-34-5151(代表) FAX:0798-23-4594
地域医療連携センター TEL:0798-34-5174(直通) FAX:0798-34-4436
E-mail: chiiki-kn@hp.pref.hyogo.jp

nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp

2026.3発行